新規(令和７年度)購入　人権教育ＤＶＤ一覧

〇みんな　いちばん！（アニメ）　１３分　小学生（低）向け

子供たちは、さまざまな経験を通し成長していきます。その過程で、つまずき、自信を失うこともあります。友達をうらやむこともあるでしょう。しかし、一人ひとりは違っていても、みんなすばらしいところを持っています。この作品は、友達のよいところを見付け、自分のよいところを見付けることの素晴らしさを伝えています。自分も大切、相手も大切という人権感覚を身に付けることにつながる作品です。

〇ズッコケ三人組のいじめをなくす作戦（アニメ）　１５分　小学生向け

この作品では、ズッコケ３人組のクラスの中でいじめが起こり、その問題を３人組のメンバーが、どう考え、どのように話し合って解決へと導いていくか。ストーリーを展開しながら、視聴者に「いじめはよくない」という強い意識を持ってもらい、いじめを防ぐためには、被害者のつらい気持ちに寄り添える思いやりを育むことができる作品です。

〇ありったけの勇気　２７分　小学生向け

子どもたちは「いじめは良くない・悪いことだ」と心の中では思っていても、「自分がいじめられるのでは？」という不安から、いじめる側に回ったり、見て見ないふりをしてしまったりするのではないか。このドラマは、友達との関わりや相手の気持ちを考えることの大切さ、いじめをなくすためにはお互い認め合い、本音で話せる関係づくりなど、いじめに立ち向かう勇気の大切さを伝えています。

〇虹のきずな（アニメ）　３１分　小学生向け

この作品では、差別に対する「傍観者」あるいは「無関心」という立場に焦点を当てた。そして、さまざまな問題を自分の問題として引き寄せて考えること、人と人がしっかりとコミュニケーションを取ること、お互いを一人の人として認め合うこと、自立した考えや行動を取ることの大切さを訴える内容です。

〇どんぐり森へ（アニメ）　１５分　小学生（低）向け

保育園に通うタッくんが病気にかかった鳥のたまごをお母さん鳥に代わって「どんぐり森」にある「どんぐり病院」へ連れていく。「どんぐり森」での不思議な体験を通してタッくんが見つけた“ひとりにひとつのたからもの”とは。いのちの尊さを感性に訴える作品です。

〇SNS に潜む危険　２２分　中学生・高校生向け

子どもたちに起こりうる身近な事案を例に、インターネットを安全に利用するポイントを説明しています。３つの観点から、子供達でもわかりやすい表現で伝えていきます。

〇君の景色を知ったとき（ドラマ）　３０分　成人向け

障害のある人や外国人、子供やお年寄りなど、多くの人にとっての「当たり前」に不便を感じる人がいることに気付くこと、そしてそれを人の力で支えあうことの大切さを描いたドラマです。

〇「無自覚」に気づく～誰もが当事者の職場のハラスメント～　２５分　成人向け（企業）

職場のハラスメントは誰もが当事者になる可能性があり、「自分には関係ない」「自分は大丈夫」という思い込みが、ハラスメントの原因になることがあります。本作では、近年多発している事例を取り上げ、年齢・性別・立場も様々な人物を描くことで、自身の日ごろの言動を顧みることを促すドラマ教材です。

〇ハテナを分かち合い、カラフルを分かり合う　２６分　成人向け（企業）

職場には多様な価値観や背景を持つ従業員が集い、そこには様々な人権課題が存在しています。本教材では「世代間ギャップ」「アンコンシャス・バイアス」「多様な性」「心の病気」「部落差別」などをテーマに、互いの状況や抱える想いに目を向けること、そして気付いた違和感（＝ハテナ）を伝え合うことの大切さを示します。

〇反対する理由　２１分　成人向け

結婚とは「両性の合意のみに基づいて成立」するものであると、憲法にも定められています。しかし、被差別部落出身者との結婚に関する差別意識は、現在も根強く残っている状況です。私たちの社会には、依然として家柄や出身などを重視する人がいて、こうしたことにこだわるものの見方や考え方が、部落差別（同和問題）を始めとする様々な差別を生む土壌となっています。このドラマは、実際に起きた複数の事例をもとに描かれています。